



# 東洋公衆衛生学院 同窓会 会報 第14号

〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局,  
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail alumni@toyophc.com

## コンテンツ

1. 新年度を迎えるにあたって 同窓会 会長
2. 令和4年度卒業式挙行
3. 国家試験の結果報告
4. 令和4年度同窓会総会 開催
5. 令和5年度入学式挙行
6. 同級生からのメッセージ(連載)  
～東洋公衆衛生学院と私～

## 新年度を迎えるにあたって

同窓会 会長 小野寺 浩幸

発生から3年余りを経て、ようやくコロナ窩も終息の兆しを見せ始めました。

安全になったとはまだ言えないとおっしゃる方もおられますが、社会は収束に向けた動きを進めつつあります。自粛を強いられていた学校などの行事も再開されてきており、同窓会の活動もようやく再開できる見通しが立ってまいりました。この3年間ほとんど活動らしい活動ができなかったことはとても残念でしたが、コロナ窩以前に計画していた同窓生に向けての活動などもこれからは本格的に準備を進めてまいりたいと考えております。学会なども再開されるでしょうから、各学会が開催される場所で同窓会の集まりなどが再開されることも期待されます。

この3年間、同窓生諸氏は医療機関の一員として、また診断に携わる重要な部門の担当者として大変な日々を過ごされていたのではないかと思います。医療の世界において、同窓生諸氏が関わる分野はとても重要な位置にあるという事を、今回のコロナ騒動で改めて感じさせられました。診断を下すには検査を行いその結果を知ることから始まります。そしてその業務内容は日々進歩していきますので、携わる私たちも絶えずアップグレードすることを求められます。

今年の春に新たに同窓会員に加わった卒業生の方々にとって、様々な制約があり同級生との交流なども十分に行えなかった学生生活は満足のものではなかったかもしれません。そのことについては同情を感じずにはいられませんが、社会の一員、医療機関の職員となったからには全力で職務に携わっていただきたいと思っています。

そして困ったことがあれば、近くにいる同窓生を頼ることも一つの選択肢です。そうしたことが気軽に行えるような同窓生同士のつながりが作れていければと思っています。

令和も5年に入りいろいろな分野で様々な変化が起きてきています。同窓会も時節に合わせた変化をしていく必要があるでしょう。そのため

には同窓生諸氏の協力がぜひとも必要です。

まずは身近にいる同窓生に現状を知らせていただくように声をかけていただくと幸いです。HP 上から登録が可能ですのでそれを伝えてください。よろしくお願いいたします。

最後に、同窓生の皆様がたゆまぬ努力でますます活躍していくことを祈念しております。

## 令和4年度 卒業式 挙行

令和5年3月1日(水)に卒業式が新宿のハイアットリージェンシー東京にて挙行されました。

卒業生および保護者の健康面、安全面を考慮し、今年度も残念ながら保護者の皆様の会場内への入場はかないませんでしたが、臨床検査技術学科 第55期生 28名、診療放射線技術学科 第41期生 69名 が学び舎を後にしました。

今年度の卒業生は、新型コロナウイルスが蔓延し始め、世の中が大騒ぎになりはじめた頃の入学生だったため、入学式も自粛され、学校に登校する事も無く4月からオンライン授業となった学生です。様々な学校行事が中止となり、お互いの顔はマスク越しが多く、制約ばかりの中での学校生活でしたが、卒業式が無事挙行され、晴れやかな姿で式に臨んでいました。

例年がない経験を積んできた卒業生の今後の活躍を期待しています。



## 国家試験の結果報告

令和5年2月15日(水)に臨床検査技術学科、翌日の2月16日(木)に診療放射線技術学科の精鋭達が、今までの努力の成果を惹起すべく、国家試験に臨みました。

臨床検査技師国家試験は第69回、診療放射線技師国家試験は第75回の施行で、共に大正大学が会場となりました。

学校で成功を祈っている教員は子どもの受験にハラハラドキドキする親のように、試験当日は落ち着きませんでした。

3月23日(木)に両科とも合格発表があり、以下のような結果が出ました。

毎日毎日朝早くから遅くまで勉強に励み、切磋琢磨していた頑張りが実を結んだ学生が多くを占め、素敵な笑顔を見せて自分たちが掴んだ成功を噛みしめていたのではないかと思います。

この頑張りを糧にそれぞれの道で有資格者として花を咲かせてもらえることを祈るばかりです。

諸先輩方にはご指導の程、よろしくお願い致します。

### \*臨床検査技術学科\*

本学:28人中28人合格 合格率100%

全国:5002人中3880人合格 合格率77.6%

### \*診療放射線技術学科\*

本学:69人中67人合格 合格率97.1%

全国:3224人中2805人合格 合格率87%



## 令和4年度 同窓会総会 開催

令和5年4月1日(土)13:30~14:00 東洋公衆衛生学院臨床検査技術学科校舎にて開催されました。

- 一. 令和4年度経過報告
- 一. 令和4年度会計および会計監査報告
- 一. 第一号議案 令和5年度事業方針(案)
- 一. 第二号議案 令和5年度予算(案)
- 一. その他

等が報告および協議された。Covid-19 蔓延の影響で各委員会活動が自粛され、支出に関しては比較的抑えられていたり、同窓会LINE アカウント取得、同窓会用メールアドレスの開設などの報告が

なされました。同窓生の皆様の登録をお願い致します。

また、役員会是对面とオンライン併用となり、地方で勤務の同窓生も役員就任が可能となりました。

さらに、会長および役員任期について会則第8条から、次年度も今年度と同様の体制で2年間の延長ということで承認されました。併せて令和5年度事業方針や予算等も、賛成多数で承認となり、新しい年度に向け始動準備が整いました。

## 令和5年度 入学式 挙行

令和5年4月5日(水)に卒業式が新宿のハイアットリージェンシー東京にて挙行されました。

臨床検査技術学科第58期生39名、診療放射線技術学科第44期76名、総勢115名の入学が認められました。



今年度は桜の開花も早まったことから、『桜花爛漫』とはいえませんが、若草の季節らしく、新しい芽吹きと共に3年後には大輪の花を咲かすことができるよう、進んで行ってほしいものです。



### <お知らせ>

LINE 同窓会公式アカウントを令和5年に取得しました。

友達登録をお願いします。



## 同窓生からのメッセージ

### ▶ 『東洋公衆衛生学院と私』と題して卒業生からの寄稿。

#### 臨床検査技術学科 第54期生 山内 享祐

私は自分の親の職業や高校生のときに見ていたドラマの影響で医療従事者に対して強い憧れを持っていました。医者や看護師など様々な職種がある中で私には検査に携わる技師の姿がとてつよく写り自分も様々な検査業務や結果の解釈、判断を行いたいと思い臨床検査技師を目指しました。

学校選びについては最も重要な家の近さで選びました。というのは冗談で(笑)、国家試験の合格率、医療現場への就職を意識した授業のカリキュラム、少人数制という集中しやすい環境など様々なところに惹かれたからです。

入学後は今までの中学、高校での勉強と大きく異なり専門性の高い授業内容、90分という長い授業で集中力を保ち授業についていくのに必死でした。

2年生になると本格的に病理や生理機能の実習が始まり毎日違う科目のレポートに追われ、授業の復習やテスト勉強も並行して行い、友達と毎日のように寝不足になりながらなんとか終わらせ、3年生では臨地実習が始まり国家試験の勉強をしながら慣れない環境で実習を行い、身も心も正直ボロボロでした。それでも時には友達と夜遅くまで新宿で遊んだり学校終わりにディズニーランドへ行くなどうまく発散してました。

学生生活を思い返してみると辛く濃い3年間だったという記憶しかないですが、すべて終わってよく振り返ってみるととても充実していたとも感じます。もちろん楽しいことだけでなく点数の伸び悩みや自分だけ置いていかれているような不安から勉強をやめて逃げ出したくなるようなときもありましたが今も繋がりのある友達に支えてもらい一緒に乗り越えました。

私は現在臨地実習でお世話になった亀田総合病院で感染症・遺伝子グループに配属され細菌検査を担当しています、臨地実習での経験や教えて頂いたことから細菌検査の奥深さや検査の将来性にとても興味をもち自分もその検査に携わり、当院の感染症・遺伝子グループは週に一度感染症科のドクターと Microbiology Round という勉強会を行い臨床との関わりを深めただ検査するだけでなく臨床症状や治療、抗菌薬の選択について意見交換を行っています。

また積極的に微生物学会での発表や他院とのカンファレンスを行い知識や技術の向上に努めています。

今は国家試験に向けての勉強で精一杯だと思いますが、ただ臨床検査技師になっただけで満足するのではなく、常に学び続け新しいことにチャレンジし続ける臨床検査技師を目指してください

#### 診療放射線技術学科 第11期生 森 美加

学生時代の思い出といえば、深夜にFIを見ながら仕上げた手書きレポート、選ばれし仲間たちと学校に缶詰めにされて朝から晩まで励んだ春休み・夏休み・冬休みの補習、徹夜の飲み会、休み時間や帰り道での他愛のない会話、新宿駅…忙しいながらも楽しく充実した貴重な3年間でした。

同級生たちとは今もSNSでつながっており、撮影技術や機器、法令関連といった診療放射線技師業務上の相談、医療関係の時事ネタの共有、学生のころと変わらぬ楽器や音楽の話、最近では天体イベントの情報交換などを行っています。

在学当時は先生方から「11期は仲がいい」と言われていましたが、30年の時を経た今も変わらず大切な仲間であり、頼りになる一生ものの友人たちであり続けています。

現在、私はハンドスイッチを置き、武蔵野周辺にある大学で教鞭を執りつつ、研究をしています。技師歴8年の時に西山篤先生の紹介で東洋公衆衛生学院にて非常勤講師をさせていただいたことが教職に興味を持ったきっかけです。そして、進学を考えて訪れた某大学院の説明会での篠原広行先生(医用画像工学・東洋では数学を担当されていました)との運命的な再会から私の医療機器の限界を探る研究の長い旅と教職への道が始まりました。まさに東洋が結んだ合縁奇縁、転機はいつおとずれるか分からないものです。ほぼ妄想のような夢が叶ったこの展開に驚いているのは私自身と学生時代の仲間たちであるのは言うまでもありません。

学生の皆さんに伝えたいことは、ただひとつ、夢をもち、人生を楽しんでください。「夢が叶う」はあくまで結果であり、叶えるためのプロセスを楽しむことも大切です。まずは「夢を言葉に出すこと」が実現への第一歩だと私は思います。もし、皆さんの中で研究をしたいけど入り口がわからない方がいましたら気軽にお声がけください。一緒に楽しみましょう!

最後に、1995年11月の木村行俊先生との約束を果たされた人がいましたら、お知らせください。

#### ▶ 編集後記

忙しさを理由に第14号の発刊が遅れたこととお詫び致します。今年度は学院祭も体育祭も久しぶりに開催の予定になっています。

同窓生の皆様にも同総会講演などご協力をお願いできましたらと思っております。

今後ご支援のほど、よろしくお願い致します。

編集委員長 青柳ますみ

#### 同窓生からの原稿を募集します!

##### 同窓会会報を同窓生のコミュニティの場にしませんか?

卒業生の活躍を掲載したいと思います。広く原稿を募集していますので、下記メールアドレスまで投稿して下さい。

facebookでも情報発信中

ホームページ @toyoCollegeAlumni

東洋公衆衛生学院 同窓会事務局

151-0071

東京都渋谷区本町 6-21-7

電話番号 : 03-3376-8511

FAX 番号 : 03-3376-4345

メールアドレス: alumni@toyophc.com

